



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成31年
3月25日
第8号

卒業生が学校を巣立ち、なんとなく寂しい校舎に感じると思いますが、すぐに新しい出会いが待っています。

平成30年度「市教委だより」も最終号となりました。先生方おひとりおひとりの元気や、各学校の取組の活性化につながることを期待して作成してきました。

1年間、お読み頂き、ありがとうございました。

新年度、ワクワクした気持ちでスタートが切れるように、しっかりとした準備をしましょう。



伝えよう！ふるさと「はつかいち」の魅力

ステージ発表校

- ・大野東小5年生「大野の水産業」
- ・四季が丘小2年生「おいもを育てよう」
- ・吉和小5年生、吉和中1年生「地域開発 ルバーブソースの商品開発に向けて」
- ・廿日市高等学校1年生「地域の課題を解決する」

3月16日（土）、大野福祉保健センターでふるさと学習発表会を開催しました。今年度、各学校が取り組んできた「ふるさと学習」の成果を展示・ステージで発表し、他校や他地域の方など多くの方々に「はつかいち」の魅力を伝えました。

各学校の発表から、「ふるさとの良さを守り、伝えていきたい」「ふるさとをもっとよくしていきたい」という子ども達の思いや地域の方々への感謝の気持ちがよく伝わってきました。



【観覧された方のアンケートから】

- 児童・生徒の発表は、廿日市の未来を明るくしてくれる予感がしました。
- 地域の方とのつながりにより、子ども達が成長し、感謝している気持ちが伝わりました。
- 自分達の地域に誇りを持ち、地域の人達と一緒に工夫しながら商品を開発するのはすごいなと思いました。ぜひ訪れたい！と思える発表でした。

ふるさと「はつかいち」の未来を担う子ども達を学校、家庭、地域全体で育てていきましょう！

ようこそ先輩！ ～自分の夢を追い続けよう！～

2月22日（金）、原小学校で同校卒業生であるけん玉パフォーマーの久保田悟さんを招き、「ようこそ先輩！」の授業が行われました。

「原小学校を卒業して、夢を叶えようとがんばっている人や活躍している人に来て話をしていただきたい。」という倉本校長先生の思いから実現したものでした。

久保田さんは、全日本けん玉道パフォーマンス大会で4回優勝するなど輝かしい実績をもっておられますが、常に夢に向かって練習に励んでいるそうです。「たくさん練習している分、何回優勝してもやっぱり嬉しい。」と笑顔で語ってくださいました。



夢をかなえるために大切な3つのこと
「考える、努力する、おそれず挑戦する」

【児童の感想から】

- ・自分も夢に向かって努力していこうと思った。
- ・ミスがなくてすごい。たくさん練習しているからだと思った。



壁にぶつかることもあったけれど、あきらめず挑戦し続けたというご自身の経験から「夢は小さくてもいくつあってもよい。追い続けることが大切。」と語った久保田さんの言葉が心に響きました。

ICT機器を活用した授業が進んでいます～第2回ICT活用教育推進研修～

2月21日(木)に金剛寺小学校を会場として第2回の活用研修を行いました。今回は1年生の算数科の授業を参観しました。児童が電子黒板を使って考えを説明したり、ペアで1台のタブレットを使って答えを電子黒板に送信して答えあわせをしたりして効果的なICT機器の活用場面を見ることができました。

金剛寺小学校は、今年度の夏にICT機器が導入された学校です。櫻下校長先生をはじめ、全ての先生が積極的にICT機器を活用した授業実践を進めています。小学校低学年ではICT機器は使いこなせないと考えがちですが、使い方のルールを守らせ、児童の興味関心を引く効果的な活用をすれば1年生の授業でも扱えると、参観した多くの先生が感じていました。

また、研究協議の時間に櫻下校長先生が自校におけるICT機器の活用の工夫を紹介してくださり、参加された先生は持ちかえって参考にしようと思死に記録をとっていました。中でも、書画カメラの活用のしかた、タブレットの保管や使用のしかたについては、他校の先生にとっても参考になったようでした。

次期学習指導要領で実施する内容の中に、小学校で「プログラミング教育」があります。金剛寺小学校においてもプログラミング教育を先進的に取り入れており、高学年の児童が作成したスクラッチの作品も見せてもらいました。

研修の後半では、パソコン教室で先生方にスクラッチで正多角形を作図するという演習をしてもらいました。プログラムの6割程度を提示し、残りを自分で考えて図形を完成させるという課題を出したら、先生方は意欲的に取り組んでいました。うまくいかなかったら、なぜこれではダメなのか、どう変更したらうまくいくのだろうかということをも必死に考えていました。

これまで活用した実践を一部の先生のものにせず、校内の先生、市内の先生も活用できるよう、ICT活用の小小連携、中中連携、小中連携を行い、次年度は今年度以上に活用が進むことを願っています。



あなたの身近に「宝物」はある！

2月19日(火)に、プログレス研修(学級経営研修)の第2回目をあいプラザ多目的ホールで開催しました。この研修は、学級づくりのスタートの段階に着目し、学級びらきの方法やこの時期におさえておきたいこと等について考えることを通して、学級経営力の向上を図ることをねらいとしています。

第1回目の中学校編は、大竹中学校の生田泰文指導教諭を講師としてお招きしましたが、第2回目の小学校編では、平良小学校の松本淳美指導教諭を講師として、学級びらきの模擬授業や学年びらき、授業びらきの講話をしていただきました。

模擬授業では、学級びらきを「信頼獲得の第一歩」として

つながれ！ 広がれ！ 「宝の山」

位置づけ、1日目に子ども達が「楽しかった！」「意見を聞いてもらえた！」を感じるための手立てが至るところに見られ、ワクワクするような内容でした。

学年みんなの結束力を高める「学年びらき」も、第一回目の授業のときに行う「授業びらき」も、「みんなと、こんな学級・学年にしたい！」「こんな授業をみんなとつくりたい！」という松本先生の思いや願いがそこにはありました。



「教師の明確な思い」「子どもの思いを受け止める」「ほめることを通して、よいものを価値付ける」「授業を通して『人』を育てる」・・・松本先生の実践や言葉の中からたくさんの宝物を見つけました。

廿深!!『学びの変革』⑧

「学びの変革」全県展開のスタートのこの1年、自分の授業は変わりましたか？ また、授業で学ぶ子供たちの姿は主体的な学びの姿でしたか？ すべての先生が「課題発見・解決学習」に取り組み、「振り返りシート」を活用して単元計画を見直す6つの視点に基づいて実践した授業の自己評価をしていただきました。

廿日市市全体の「振り返りシート」の自己評価の結果を集計したところ、【項目2】「課題解決の見通しをもたせること」について肯定的評価の割合が一番高く、【項目1】「目標に迫る問いを引き出す」ことや【項目6】「学習の振り返りの場の設定」に課題を感じている先生方が多いことが分かります。

課題発見・解決学習 振り返りシート 集計結果

	肯定的な評価の割合
項目2	93.2(%)
項目1	65.8(%)
項目6	62.3(%)

先生方の声より

- 学習計画表、構造的な板書計画を活用し、日々の授業の見直しや単元全体のゴールイメージをもたせることで学習意欲が高まった。
- 練り合いの場面で、できるだけ児童のみで練り上げていけるよう、どのように友達と学び合うのかを2ヶ月かけて具体的に指導した。
- 学習の振り返りの際、「視点」を焦点化する必要がある。
- 児童のつぶやきや気付きを大切に、学習の展開を仕組むことが大切。

各学校における「振り返りシート」集計ファイルを分析すると、学校全体の課題が見え、授業改善の方向性も明確になります。私たちの取組も、主体的な課題発見・解決の取組と言えるでしょう。来年度の次なる前進の一步は何か！それを見いだすための本年度のまとめをしっかりとしていきましょう。

★★★★★ お知らせ ★★★★★

新年度を迎える前に、平成31年3月8日付け事務連絡「特別支援教育に係る資料について」を今一度ご覧ください。

そこには、全ての教師にとって大切にしたい事が書かれています。子どもたちとの新しい出会いの前に、是非ご確認を!!